

2020 エフエムまつもと 高校生アナウンスコンクール

【ニュース部門】 予選審査講評

都道府県	氏名	審査講評
長野県	五味 輝	<p>ロングホームルームの話。ホームルームという、教科とは違う授業に見つけた差異をピックアップしたところが面白いです。さらにうまく掘り深めて行けると、放送局のニュースとしても扱えそうな匂いを感じました。ぜひ取材を続けてください。</p> <p>ニュース自体もまとまりよく端的に伝えられています。とてもいいニュースです。</p> <p>よく通る良い魅力的な声質です。ただし声質の良さを生かし切れていないのも惜しいポイントです。ずっと音が高いので、意味の終わりは低い位置に収めるとより声質が生きます。不用意な間があります。普段話すように、自然な間を意識しましょう。</p> <p>～したり、～したり、～したり等の並列の文章の間の取り方、リズムよく工夫してみてください。</p> <p>苦手な言葉はそこだけ取り出して、繰り返し練習しましょう！</p>
長野県	小松 紗依	<p>林業女子、山田さんの話。ハッキリした発声でいいですね、マイク通りがよく明瞭です。テンポが速いこと、単語をサッと速く読み飛ばしてしまい、名詞が聴き取れない部分が多々出てきます。「1本500キロ」「10年もの間」「ようやく」「林業女子」等。単語ひとつひとつ浮かぶよう、ゆっくり、ゆっくり話す練習をしましょう。</p> <p>ニュースに出てくる名詞や数詞、丁寧に話しましょう。</p> <p>ニュースの作りはとてもわかりやすく、伝わる内容だと思います。ただ原稿の文字数、特に「言葉数」が多いように感じます。もっと間引きして、スリムにすると読みやすくなりますよ。</p> <p>林業の現状、未来を考えた内容に好感を持ちました。</p>
長野県	小林 港	<p>1年生の掃除の話。掃除、という当たり前のところの目を付けて、その問題点を見つめてテーマにできる視点は大切です。高校生らしい問題提起のニュースでした。</p> <p>一方で明るいニュースとはいえないので、表現が中途半端になってしまったように思います。難しいですね。</p> <p>声質が良いので、元気にハッキリと発声できるととてもよくなります。文をぶつぶつと切るように読んでしまうところがあります。それでは意味がスッキリと耳に入らなくなってしまいますので、意味のまとまりを話しきるようにしましょう。</p> <p>～が、～と、など助詞の母音が残ってしまいます。腹式呼吸を会得して、キレよくしていけると良いですよ。トレーニングで必ず身に付きます！</p>
長野県	深澤 暖菜	<p>絵本の挿絵作家の話。透き通ったよく通る声ですね。とても魅力的です。挿絵作家というところだけ切り抜いても良いテーマです。統合失調症の話はトピックとして良いですが、文字数過多になっています。原稿の減量しましょう。今の書き方はナレーション原稿のようになっていますので、話し言葉の原稿にしてみましょう。</p> <p>丁寧に読もうという意識は伝わってきます。ただスピードが速く、間がありません。話の内容が良いので、もっとじっくり聞きたいです。「絵本の挿絵作家」、「見た人が～～うれしい」など、大切な言葉をしっかり押さえて読めると良いですよ。</p> <p>まだ苦手な行や言葉を克服しきれていないように感じます。繰り返しトレーニングすればちゃんと克服できると思います。</p>
長野県	滝上 裕史	<p>部活動が辛いという話。ニュースというより校内放送のテイストが強い内容でしたが、高校生の身近な部活動の苦悩を現役プロ選手に解決・アドバイスしてもらえる機会はなかなかない貴重なことだと思います。ただ、林くんはどんな人か？なぜ取材対象になったのかよくわかりませんでした。</p> <p>単語単語で息が切れるので発声を保てるようブレスコントロールをしっかりと練習しましょう。同じニュースの中でも一文一文の内容に適した表現（明るさ等）が出せると良いです。そしてもう一歩二歩、前に、明るく元気に声を出すよりよいです。</p> <p>大崎選手のメッセージ、もっと力強く立たせた方が良いと思います。</p>

長野県	池田 太陽	<p>演劇部の話。おもしろい話題ですね。演劇部が廃部の危機、という話題を最近よく耳にしますので、ある意味でタイムリーなニュースなのかもしれません。なぜ人気が無くなってしまったのでしょうか、気になりました。登場人物の二人の活動についてよくリポートされていました。伝えたい思いがきちんとニュースになっています。</p> <p>「1年生の2人が」→「2人の1年生が」、の方が分かりやすいとおもいます。</p> <p>よい声質をしていますので、発声を改善すると良いですね。喉からダイレクトに出てくる発声なので、もっと「よく響く音」を意識してみてください。</p> <p>口が横に引っ張られ過ぎているので、「います」が「いめす」に聴こえるといったところが所々あります。タテに開ける意識をもってみてください。</p> <p>また、ニュース本文の情報を読むのではなく、話すようにしてみましょう。</p> <p>まだまだ伸びると思いますよ！</p>
長野県	中川 心	<p>モトクロスに取り組むヤナギサワくんの話。傷だらけになりながらモトクロスに取り組む高校生のリアルなりポートが良かったです。世代をまたいだ競技人口の数値などがよりニュース性を高めています。</p> <p>魅力的な声です聴きやすく、滑舌・発音もとてもきれいで、丁寧に内容を話しているところに好感を持てます。少々力が入り過ぎているようにも感じます。それに伴ってイントネーションのうねり、語尾が上ずってしまうところがあり、おいしいです。</p> <p>「滑りやすく」「取られます」「前向きです」「～と比べて」など、文末の文節が走りがちです。最後までキープしましょう！</p> <p>口を縦に開ける意識を持つようにしましょう。</p>
長野県	日達 真衣	<p>JRC部の原さんの話。メジャーではない部活動の動向に注目した視点が良いですね。着眼点いいと思いました。JRCの活動、現在の全国的な傾向が知りなくなりました。</p> <p>「原あずみさん」が沈んでしまっています。大切な言葉はもっと立てましょう。</p> <p>「かけてもらった」の発音が甘い。全体的な滑舌の練習を頑張りましょう。</p> <p>イントネーションがうねらないよう、意味のまとまり、頭の音の高さをしっかり意識しましょう。</p> <p>「～です“が”」、「1人“で”」など、母音が残るのでキレよくしましょう。文末はもう少し下げた方が良いと思います。</p> <p>「寂しい」→「さみしい」より「さびしい」の方がいいです。</p>
長野県	百瀬 優芽	<p>72回銀河祭の話題。落ち着いたアナウンスメントで、ストレスなく情報を聴きとることができました。クリアな発音で、特にサ行がきれいですね！声質も良いです。</p> <p>ひと息を長くキープできていて、係りや受けもしっかり読めています。</p> <p>「感じ“られ”ない」がちょっと甘い。</p> <p>銀河祭が開催されました→Aを行いました→Bを行いました→「実行委員長は暗い表情です」、過去形、過去形、現在形、といった構成になっているので、時系列を正す表現にするとより良いです。テーマの掘り下げ方を全体的ではなくピンポイントにするとさらに訴求力の高いニュースになります。</p> <p>読み方をニュースの最後に向けて少しずつ「終わる感じ」に持っていけると、更にプロのニュース読みになりますよ！</p>
長野県	北村 莉子	<p>相撲部男子の話。わかりやすく、しっかり伝わるニュースです。落ち着いた話し口調で聴きやすく、内容をしっかり理解して伝えているので、係や受けなども正確に読めています。なによりポーズの取り方が1年生とは思えません。アナウンスの才能を感じます。</p> <p>その一方、もう一歩発声を！自信をもって声を前に出せるとなお良くなります。まずは元気よく話しましょう！特に文頭はもっと上げて良いと思います。優太くんの言葉ももっと力強いほうがいいです。</p> <p>コロナ禍での葛藤や苦労が伝わってきました。早く満足に相撲ができるようになると良いですね。</p>

<p>長野県</p>	<p>木原 宏文</p>	<p>学校紹介のポスターの話。デジタルの時代に、ポスターを手書き・手作りする取り組みが面白く感じました。ラインやインスタのデザインを取り入れるという、ある意味合わせ技で中学生の興味を引こうとする工夫も面白く感じました。</p> <p>基本に忠実に、テンポよく読めています。慌てずに間を取れているのが良いです。</p> <p>一方で、まだ苦手な単語や行が目立ってしまうので、繰り返しトレーニングをして、全体的に滑舌を頑張りましょう！例えば「紹介」が「そうかい」に聞こえます。シャ行も押さえましょう。語尾・文末、もう少し下げた方がいいです。</p> <p>あとは本文の意味を、自分の言葉として話せるとのよいですね。</p> <p>しっかり声を出そうとしていることが分かります。その調子で頑張ってください！</p>
<p>長野県</p>	<p>両角 隆寿</p>	<p>剣道男子の話題。登場人物の練習について、大会について、想いなどバランスよく取材されています。</p> <p>元気な発声とてもいいです。きちんと文章の意味を伝えられていると思います。良い声質なので、今後さらに良くなりそうです。</p> <p>発音をもう一歩、ハッキリできると良いですね。人名など、名詞など大切な言葉の部分は丁寧に話しましょう。「」の前後の間を研究してみてください。</p> <p>所々語尾が伸びてしまうところ惜しい。また、文末に向けて音がどんどん下がるので、途中で一度引き上げるといいですよ。</p> <p>テンポが全体的に速いので、ゆっくりと。意味で落ち着いて話せるようになると、大物に化けると思いますよ。</p>
<p>長野県</p>	<p>古田 皓祐</p>	<p>あゆみの会の手作り弁当の話。明るい印象の声を使っていて、ニュース内容に合っていて良いです。着目したテーマも興味深いです。我々も密着して取材したいと思うような地域の活動、よく見つけてきましたね。今年どうなったのか、続きが気になりました。</p> <p>エントリーの名前の読み方くらいのハリと明るさを最後までキープできると、もっと具体的なニュースになりますよ。文頭の入る音の高さにもう少し変化をつけてみてください。</p> <p>タ行、サ行の発音トレーニングをしましょう。リップノイズあり。</p> <p>「お年寄りと・地域をつなぐ」→「お年寄りと地域をつなぐ」、など、所々山になるイントネーションに注意しましょう。さらに意味で読み込めるとよりよいです。</p>
<p>三重県</p>	<p>橋本 小春</p>	<p>ずずかがくの話。情報もよく入っているので、レポートとして好感が持てます。市長に想いが届くと良いですね！</p> <p>明るくよく通る、芯のある発声で良いです！発音もとてもきれいです。しっかりとした日々の練習が伺えます。元気の良いアナウンスメントですが、反面、元気よく言い放ってしまうところが惜しいです。高い音域はいいのですが、もう少し下の音域も出せると表現の中が広がりそうです。読み方は、自然に話すように語尾を下げ、意味の中身を話せるとさらに良くなりますよ。</p> <p>イントネーションのうねりに注意しましょう。意味のまともはストレートに読み切るように、また、文頭の出だしの音の高さに変化をつけるなど、いろいろ工夫してみてください。これからの成長が楽しみです。</p>
<p>三重県</p>	<p>打田 羽麗</p>	<p>大道芸人カトウミキオさんの話。新型コロナのタイムリーな話題に目を付け、さらに大道芸人の苦悩、例えばキャンセル電話が鳴りやまなかったというトピックに目を付けたのがとてもgoodです。明るい未来へ希望を伝えてくれるいいニュースだと思います。</p> <p>伝えようとする気持ちが前に前に出ていて、その姿勢は何より大切です。ただし、気持ちが強すぎると押しつけがましいアナウンスになってしまうので、もう少し自然に話す調子にまで落とし込んでみましょう。ちょっと必死な感じに伝わってきます。</p> <p>締めの言葉にもう一工夫欲しかったですね。</p> <p>息を吸う音が気になります。鼻から静かにたっぷりと吸う練習をしましょう。</p> <p>「出演・キャンセル」→「出演キャンセル」、「着信音・さえも」→「着信音さえも」など、言葉をまとめて話し切りましょう。</p>

愛媛県	川上 瑞葉	<p>火曜日オススメの購買パンの話。アゲパン。「真っ白なお砂糖をまぶしたアゲパンは・・・」という一文はとても美味しそうな情報が入っていますよね。ならばもっと美味しそうに明るく話しましょう！全体的にアゲクリ愛が足りないような読み方になっていましたので惜しいです。</p> <p>「栗のような」など、名詞が聴き取れなかったので、ゆっくり、丁寧に話せるとより良くなりますよ。</p> <p>「もちもちしたパンと・カスタードクリームが」→「もちもちしたパンとカスタードクリームが」のよ うに、頑張ってひと息でいきたいです。</p> <p>「～みませんか？」の表現は難しいですが、「か？」を思い切って上げてみましょう。</p> <p>シメがシャレが利いていて良いですね！アゲクリ、食べたくまりました。</p>
愛媛県	高田 彩夏	<p>国立繊維ミュージアム建設についてという学校外のテーマに注目した点、視野が広く、大先輩の活躍という話題も良いです。ただワタナベさんの話になってしまったので、どちらのニュースなのか絞るともっと良いです。「世界に先駆けた繊維」とはどんな展示になるのか、気になりました。リードをワタナベさんの話題から入ると良いかもしれません。</p> <p>音域の中が広がると表現が豊かになります。</p> <p>滑舌もう一步。言葉の端々まで気を配り、歯切れの良い発音を意識しましょう。特に、マ行や、ダ行バ行といった濁音、破裂音をハッキリ言うようにするとよいですよ。</p> <p>「熱い」のアクセント、“厚い”“暑い”と合わせて確認してみましょう。</p>